

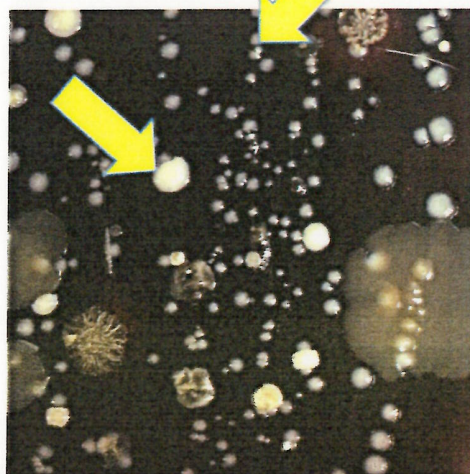
～乳汁検査～乳頭を綺麗にしていますか？

『原因菌はどれ??』

日々の乳汁検査で気になることがあります。例えば、乳汁検査で培地に右の写真のような細菌のコロニーが繁えた場合、どの菌が乳房炎の原因菌と考えられますか？コロニーは白色や黄白色、大きさも様々です。この場合、「雑菌が多く原因菌は不明」と解釈します。なぜなら、通常、乳房炎の乳汁を清潔に採材した場合、一種類の菌のみがみられるからです。

せつかく乳房炎かもしれない牛を発見し、手間をかけて乳汁を採取して検査に出したのに、これでは非常にもったいない！オンファームカルチャーをしている農家さんでも同様です。もし、乳汁検査結果で「雑菌」が出たり、農場での培養で雑菌が多く見られる場合には、一度、乳汁の採取方法を見直してみると良いかもしれません。

矢印の二つは同じ菌だろうか？



『乳頭をとにかく綺麗に！』

乳汁を採取するときには、

① 可能な限り乳頭口を綺麗にする。

右の写真のようにアル綿を使って乳頭口を拭いても1～2回ではまだ汚れが付いていることが多いです。

② 2、3回搾った後に、スワブで採取する。この時、スワブの先端が乳汁以外に触れないことも大切です。

③ 採材後はイソジンスプレーなどを乳頭口に吹きかける。



乳房炎は早期に発見し治療することが大切です。そして治療には菌種の同定、薬剤感受性試験が欠かせません！綺麗な採材による正確な菌種同定が非常に重要です。

IWASAWA